年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科　　国語　　科目 国語表現

教　科：国語　　科　目：国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　M，E，Aコース

使用教科書：（ 国語表現（大修館書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の「話す」「聞く」「書く」知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を効果的に使うことを通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「小論文・レポート入門３」 【知識及び技能】 自分の意見を、その理由・根拠を明確に示しながら論理的に説明し、読み手を納得させることができる、説得力のある文章の書き方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		【知識及び技能】 「話す」「聞く」「書く」ことを通したコミュニケーションの知識や技能について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	23
	定期考査									1
2学期	「小論文・レポート入門４」 【知識及び技能】 自分の意見を、その理由・根拠を明確に示しながら論理的に説明し、読み手を納得させることができる、説得力のある文章の書き方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、読み取った資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指示された発想法を適切に用い、メモやグループ表を作っている。 ・発想メモやグループ表を有効に用い、広げた発想を構成に活用して筋道を立てて書いている。 ・小論文の作成に強い関心をもって熱心に取り組もうとしている。 ・情報を集めるために、多角的な視点で調査方法を考えている。 ・客観的な根拠を適切に示すため、文章と図表や画像などを効果的に関係付けながら、論理的な構成で説得力のあるレポートを作成できる。 ・論文作成の進め方やテーマの吟味、調査方法の検討について十分に理解し、的確にワークシートに記入している。	○	○		【知識及び技能】 自分の意見を、その理由・根拠を明確に示しながら論理的に説明し、読み手を納得させることができる、説得力のある文章の書き方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見やその理由・根拠、また自分と異なる立場の意見を明確にし、意見文の構成の型に習熟することで、論理的な読み手を納得させることができる説得力のある文章を書くことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を、その理由・根拠を明確に示しながら論理的に説明し、読み手を納得させることができる、説得力のある文章を書くことで、積極的に自分の意見を発信し、他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	27
	定期考査									1
3学期	「メディアを駆使する」 【知識及び技能】 書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫することができる。 紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組むことができている。	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・相手に効果的に伝わるように表現を工夫して通信文を書くことができる。 ・通信文ごとの特徴を考えて書くことに意欲をもち、積極的に表現の工夫をした学習に取り組んでいる。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		【知識及び技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査									1